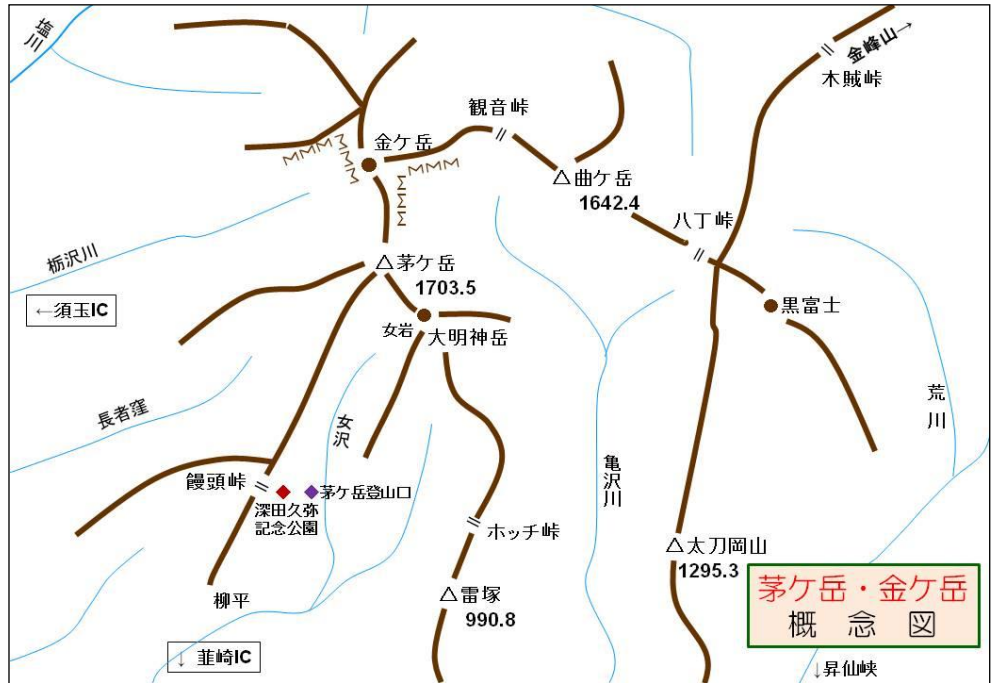


踏み跡 <My Mountains>

奥秩父	柳平から茅ヶ岳と金ヶ岳	No.196
-----	-------------	--------

中央本線の夜行列車で早朝寝ぼけ眼で車窓を見て、「八ヶ岳が見えるところまで乗り越してしまった！」と驚いたことが何度かあった。甲府盆地の北西の端っこに立ち、山群全体の形が八ヶ岳によく似ていることから「偽八つ」と呼ばれる山、それが茅ヶ岳・金ヶ岳・曲ヶ岳である。深田久弥の日本百名山にも出てくる茅ヶ岳、しかも彼の終焉の地でもある。(最終ページに写真)
 バスの便がかなり良くないため車を使って往復するプランを作ってみた。

昭和59年4月7日
 天気は晴れ、気持ちの良い出発になった。6時に家を出て、藤崎のセブンイレブンで食物を購入後武石インターに戻って京葉道路へ。韮崎インターで下りて県道韮崎昇仙峡線を登って行き、大明神の少し手前にある茅ヶ岳登山口のバス停に9時10分に到着。
 (ここまで201Km)
 駐車スペースを見つけて車を止めて朝食。朝食はセブンイレブンで買ってきたサンドイッチと牛乳。食事のあと身支度を整えて9時45分に出発。ここは海拔1000mなので700mの標高差を登らなければならない。女岩10時45分。水場で水を汲んで小休止。茅ヶ岳(1704m)11時40分。二等三角点がある頂上は一面の雪。(左下写真)



雪をたっぷり抱いた甲斐駒・早川尾根・北岳・鳳凰三山など南アルプスの山並、(下写真)そして反対側に首を回せば八ヶ岳・金峰山・国師・黒金山などが出迎えてくれた。



どの山も皆九州支店に転勤したため久しぶりで懐かしい。「満足」と言うほか表現方法がない。景色を楽しみながらの昼食。

昼食の後は金ヶ岳へ。金ヶ岳は海拔1764m、北面の積雪は20~30cm。登山者は自分のほかにもう一人だけで、ほぼ貸し切りに近い頂上。彼が清川へ下って行くと静かな人の匂いのしない頂上になったので、日だまりを

探して食後の昼寝。茅ヶ岳に戻り14時10分下山開始。登山口に16時10分に帰着。紅茶を沸かしておやつ時間。実はこの紅茶は頂上で飲むために持ってきたものだったが、マッチを車の中に忘れて行ってしまったた



踏み跡 <My Mountains>

め下山後に Tea time ということになった。

16時30分出発。国道20号線へ出て、葦崎でホウトウを食べ甲府で貴石画を買った後、昭和インターから中央自動車道に入り自宅に20時15分に帰着。(本日の走行距離=402Km)



(左写真：深田久弥終焉の地)

以上